

小松市立学校PTA連合会

PTAだより

第73号

<市P連事務局>

〒923-0904 小松市小馬出町1番地

小松市教育センター内

TEL (0761) 23-2478

FAX (0761) 23-0902

E-MAIL pta@kec.hakusan.ed.jp

www.hakusan.ed.jp/

~kcpta/

平成22年3月1日発行

市P連広報委員会

印刷：有限会社斉藤印刷



『自立の基礎を 今、子ども達に』

小松市教育長 吉田 洋三

大人として、子ども達に最も身につけさせたいものは何でしょうか。知識、感謝の心、健康な身体……。大切なものはたくさんありますが、その最たるものは「自立心」ではないでしょうか。

親は、我が子より長く生きて、いつまでもその成長を見守っていくことはできません。そう考えると、将来子ども達が出会うであろう様々な困難を自力で乗り切る心や力をつけることこそ、親としてなすべき教育ではないでしょうか。『教育基本法』第五条にも、義務教育として行われる普通教育の目的について、「各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い」とあります。このグローバル化・情報化社会において、また国政や世界情勢が変化著しい中でこそ、優しさと逞しさを兼ね備えた自立した人間の育成が急務です。

小松市の子ども達は、素直で明るく、授業態度も真面目であり、学校行事や部活動にも一生懸命取り組んでいます。しかし、自分の

考えをしつかり持つて相手に伝えることが苦手だったり、指示されたことはできるが、主体的に自分で考えて行動できなかったりする子が多い状況です。また、自己有用感の乏しさから、自分の夢や、自分に自信が持てない子も少なくありません。

これらの課題を踏まえ、小松市では様々な取り組みをしているところです。学力向上のためのアプローチはもちろんのこと、言語活動をとり入れた子ども主体の授業改善、読書教育の推進、英語教育や道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の充実等です。また、それらの基礎となる学級づくりも大切にしています。子どもの意識に根付いた学級目標のもと、共感的人間関係を育み、発達の段階に応じて子ども達の自治力を高めていくよう努めています。

今後更に、保護者の皆様や地域の方々と連携を密にしながら、自立の基礎の育成に向け努力して参ります。PTAの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「PTA活動を通じて」 子ども達の背中を見て育つ」

小松市立学校PTA連合会

会長 西出 稔



「PTAの役をしたら自分の子や家庭のために直接役にたつんけ。」「こんな活動して子どものためになるの。」と言うような事を耳にしました。昨日の子と今日の子の顔を見ても成長しているとは思いませんが、1ヶ月、半年と振り返ると、その成長は著しいものがあります。その毎日の生活の中で、家庭内の何気ない会話、親の考え方、喋り方、行動、家庭の雰囲気、そのものを子どもは自然と吸収しています。大人が何事にも一生懸命行う姿勢を見せれば、きっと子どもは何かを学んでいるのではないのでしょうか。

一方、親として大人として、いろいろな人の意見を聞いたり、人の行動を見て率先して勉強し、人との出会いを持つ事が、子どもの成長につながるのではないのでしょうか。PTAでの一つひとつの活動が、すぐに子どもに反映しないかもしれませんが、少しずつではあります。確実にその効果も現れます。そして何より、みんなと一緒に取り組む事に意義があるのではないかと思います。

最後に、一年間PTAの運営や活動にご協力いただきました各単位PTAの保護者の皆さん、そして教育関係者・諸団体の皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

早寝早起き朝ごはん運動

大人が変われば子どもも変わる

小松市民大会

◆日時 平成21年11月29日(日)13:30～ ◆場所 小松市民センター 大ホール



「早寝早起き朝ごはん運動」小松市民大会を11月29日(日曜日)小松市民センターにて開催しました。当日は、「我が家の標語」「我が家の朝ごはん」「ポスター・絵画」「地域功労者」の4つの部門で優秀作品の表彰と地域での運動に活発に取り組んでいた2つの公民館の功績を表彰し、活動等の発表も行いました。本大会を通じて、家庭では規則正しい生活リズムを取り戻し、地域全体では各種団体と連携を図り更なる運動が広まることを願います。

◆◆◆ 講演会 ◆◆◆



演題

もったいないが食育の基本

講師 森野 熊八氏(料理人)

当日は、歌う料理人の森野熊八氏による講演会を開催し、明るく楽しい語り口で、既成の栄養学にとられない「熊八流食育」を提案していただき、参加者は親も子ども毎日の生活リズムを見直す機会となりました。

<早寝早起き朝ごはん> 受賞者

☆「我が家の標語」部門

安宅小学校 1年 海老ひなたさん
安宅小学校 1年 田中 逸暉さん
符津小学校 2年 中村 一翔さん
蓮代寺小学校 4年 谷鋪 聡太さん
国府中学校 1年 山崎布由佳さん

☆「ポスター・絵画」部門

符津小学校 3年 天池 舞桜さん
安宅小学校 4年 西澤 舞さん
第一小学校 5年 埴田 明里さん
東陵小学校 5年 山口 雄太さん

☆「我が家の朝ごはん」部門

日末小学校 2年 倉下 真一さん
苗代小学校 5年 小橋穂乃佳さん
国府中学校 1年 澤田 果歩さん
安宅小学校 4年 西澤 舞さん
安宅小学校 5年 村上 裕哉さん

☆地域功労者部門

上本折町公民館 代表 越田 浩司さん
滝ヶ原町公民館 子ども会 川端 淳一さん

「早寝早起き

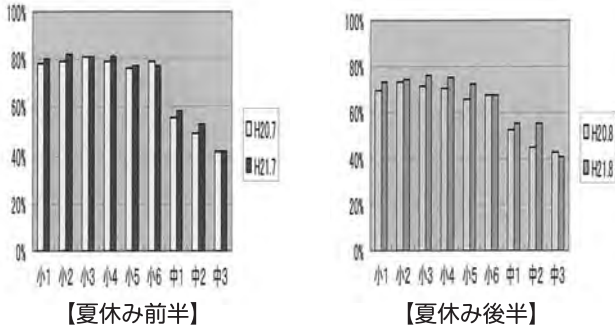
朝ごはん運動」を通して

特別委員会委員長 吉村 範明

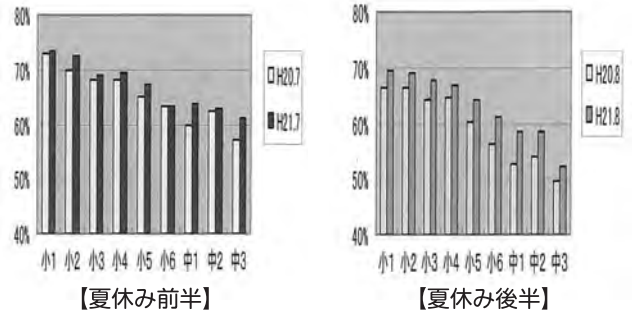
「早寝早起き朝ごはん運動」も本年度で3年目を向かえ、早寝早起きと朝ごはんを食べることの重要性に対して子どもたちや保護者の方々、そして地域の方々の関心も年々高まってきていると感じております。中でも募集作品の応募総数は昨年と比べ約40%増の約630作品で、どの作品においても増加傾向でした。また、夏休みの前後半の一週間に付けて頂いた生活習慣チェックシートに関しても、どの子どもたちも前半は目的意識を持って行動し、後半にこれまでの日々を振り返り、確認意識を持って反省し今後の改善策を見出していたように思います。大人でも中々過去を振り返り確認などをすることが少なくなってきた昨今、チェックシートに目を通して、改めて子どもたちに教えられた気がしました。これからも親として、大人として子どもたちに良い背中を見せられるように頑張りたいと思います。最後になりますが、関係各位に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

< 早寝・早起き朝ごはん運動チェックシートより >

朝6時30分までに起きた人の割合



就寝時刻の目標を達成できた人の割合



★まとめ

「早寝早起き朝ごはん運動」に取り組んで今年で3年目ですが、全体的に少しずつではありますが、規則正しい生活習慣が徐々に身につけてきています。子どもも親も生活習慣を見直そうという意識が高まってきていることがわかります。

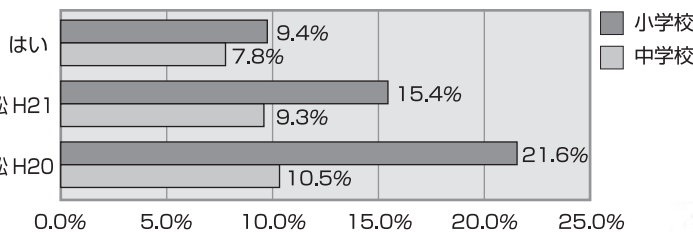
一方で、ラジオ体操に参加していない小学生が2割もいることや、1日に1回も家族で食事をしない家庭、朝食を主菜+副菜で食べていない子どもがまだ見受けられます。また、全体を見ると5年生、6年生、特に中学生の伸び率が低下しています。特に中学生になると、生活環境が大きく変化し、生活習慣が乱れてしまう結果が出ています。特に中学1年の時期に小学生の時と変わらない生活習慣を維持していくことが大切であり、今後の課題と言えます。

・・・ ケータイ問題について ・・・

今年に入り「いしかわ子ども総合条例」にケータイに関する項目が追加され施行されました。携帯電話について小中学生には防災、防犯その他特別な目的の場合を除き所持させないよう努めること、また、18歳未満の青少年に所持させる場合には、フィルタリングサービスの利用を徹底すること、とされました。

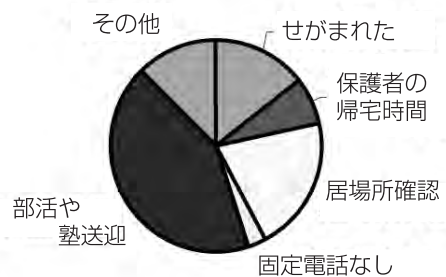
市P連では、様々な問題の起因となるケータイに関して、先ず大人である私たち保護者がケータイの危険性や特性を十分理解することが第一かと考え、各学校や教育センターにご協力願ひ、一人でも多くの保護者に理解して頂くために講演会の開催を行って参りました。

小中学生のお子さんに携帯電話を持たせていますか？



積極的にPTA活動に参加している人や講演会に興味を持たれた方は所持率が低くなっています。特に、参加された中学生保護者の子どもの所持割合が大変良い成績になっています。また、教育センターのデータですが、小松のH20年とH21年を比べると中学生の所持率が大きく下がっていることもわかります。

携帯電話を持たせた理由は？



部活や塾の終了時間は決まっていると思われるのですが、一番多かったのは「部活や塾送迎」でした。

★実際のトラブル例

- ・有害サイトの振り込め詐欺の話が身近で起きた。
- ・知らないメールを開いたら80万円ほどの請求が来た。解約するなら3万円振り込めと言われた。
- ・架空請求され、もう少しで子どもが払いそうになった。
- ・プロフによるいじめ

★わかったこと

1. 少しずつではあるがケータイを持たせない保護者が増えてきている。
2. 講演会等を通じてケータイに秘める怖さを実感した。
3. 講演会を聞いた人は子どもにケータイを持たせようと思わなくなった。



母親委員会のページ

～ 第2回 会長研修会と合同開催 ～

第3回 母親委員会

平成21年10月2日(金)

第一コミュニティセンター
多目的ホールにて

第2回母親委員会において、☆「ケータイを考える」という講演で矢原珠美子氏(前小松市教育長)からお話いただいた内容を基に各グループ研修を行い発表しました。(内容は各学校に配布しました。また、市P連ホームページでもご覧頂けます。)

☆Aグループ 稚松小 今江小 串小 西尾小
符津小 粟津小 国府小 波佐谷小

☆テーマ 『いまさら聞けないケータイ』

☆内容 中学生にとって常識のケータイ用語を親がよく分かっていません。まずは、初歩的な所から学んで、ケータイの長所や問題点を調べました。



☆Bグループ 第一小 金野小 日末小 安宅小
犬丸小 向本折小 能美小 月津小

☆テーマ 『それでもケータイを持たせますか?』

☆内容 親としてケータイがもたらす危険性を把握する為ケータイをとりまく問題点を調べました。



☆Cグループ 蓮代寺小 那谷小 苗代小 芦城中
荒屋小 木場小 中海小 矢田野小
東陵小

☆テーマ 『おとなの「携帯」子どもの「ケータイ」』

☆内容 大人と子供のケータイ観には様々な違いがありトラブルがあった場合でも、子供達が相談しやすい環境を準備しておく努力が必要と考えます。

☆Dグループ 安宅中 芦城中 丸内中 松陽中
御幸中 南部中 国府中 中海中
松東中 板津中

☆テーマ 『携帯電話から考える親子関係』

☆内容 ケータイ問題について、子供達と家庭内から話し合う事で親子関係を深めようと思い、携帯電話の所持と現状について寸劇に仕立てて発表しました。

☆ 平成21年度 ☆

母親委員会 1年間の歩み



名称	内容
第1回委員会 5/13(土)	取り組説明 自己紹介・役割分担・懇親会
第2回委員会 6/26(金)	講演『ケータイを考える』 講師：矢原 珠美子 氏
第3回委員会 10/2(金)	グループ別研修会報告
母親研修会 10/28(水)	子供達の感性を育てていく上で 地元の文化に接する(金沢)
第4回委員会 2/19(木)	反省会

☆ 読んでみまっし!

(親子で読んで欲しいお薦めの本)



「おこだてませんように」 くすのきしげのり 作/石井聖岳 絵
「せなかをとんとん」 最上一平 作/長谷川知子 絵
「いのちは見えるよ」 及川和男 作/長野ヒデ子 絵
「びりっかすの神様」 岡田 淳 作

長い人生の中で両親や友達、学校生活を楽しく過ごせ、
たった一言でもいい大切な言葉やいのちの
有難さ愛と希望と勇気を貰い心通わせる
事の出来るお薦めの本です。



〔協力〕 今江小 図書司書 高橋千秋先生

母親研修会

平成21年10月28日(水)
金沢市内各所



【行程】金沢地裁・地検見学 → MRO見学 → 21世紀美術館見学 → 近江町市場見学

< 研修後の感想文より >

- ☆ 地裁・地検は、興味深く貴重な体験が出来ました。学んだ事を学校に持ち帰り育友会の方々にもお話ししたいと思います。
- ☆ 子供達にも知って欲しい事がいっぱいでした。家族と裁判所の話、テレビの話、美術館の話をとくさんしたいと思います。
- ☆ 普段決して足を踏み入れる事のない場所、裁判所や検察庁等、とても丁寧に説明して頂き興味深く聞くことが出来ました。美術館にはとても関心があり横尾さんの作品も大変楽しめました。母親代表にならなかったら、出会う事もなかった仲間たちと楽しく見聞を広められ、とても心に残るよい研修となり、よい思い出にもなりました。
- ☆ 普段一般人としては見学出来ない裁判所や検察庁を見学できたので、こういう仕事もあるのか・・・と子供への職業の選択肢にも紹介できます。次回も地元で石川伝統産業体験ツアーができればと思います。



地裁にて、裁判制度の説明を受ける



MROにて、スタジオ見学♪



笑って子育て

母親委員長 黄木幸代



我がの長女は
今、来年の大学
卒業に向けて、
就職活動に忙し
く動き回ってい

ます。やっと社会人として自立して
くれる日も近いと、ホッとする
ような気持ちになる反面、さみし
い気持ちになったりもしています。
考えたら子育てはこの繰り返しだ
ったような気がします。

手のかかる幼児期は、自分の時
間もほとんどなく子供にかかりつ
まり。学校に行くようになって、
楽になるなあとと思うけど、いざ行
ってしまつと、なんだかさみしく
て。当たり前のことですが、大き
くなってしまつと、小さい時のよ
うな関り方はできなくて、その時
期の関り方はその時期だけ。そう
いうことも、過ぎてしまつてから
気付かされたりします。

本当に、その時その時の子育て
を、楽しまなければ、もったいな
い。上の子たちが大きくなった今、
余計そう思うようになりました。
PTA活動も、そういう気持ちで
関れると、きつと
楽しいだろう
なあと。

『笑って生
きて下さい』

これは、大
好きな芸人
さんの言葉
ですが、笑っ
て子育てして
いければいい
ですね。

今年度 広報は私達が
担当しました。

林 和美・橋本恵美
福井幸子・馬場優子



第12回 小松市中学校新世代会議

- ◆日 時 平成21年11月15日(日) 14:00~16:30
- ◆場 所 第一地区コミュニティセンター2F 多目的ホール
- ◆事業目的 子ども達が今、何を考えているのか本音や生の声を聞き、今後のPTA活動の参考とする
- ◆対 象 者 小松市立中学校生徒40名(各中学2年生 男女各2名)
- ◆事業内容 4テーブルに分かれ、各テーマについてディスカッション(司会、進行は生徒主体)
テーマ①「行きたくなる学校とは？」 テーマ②「帰りたくなる家庭とは？」

テーマ① 「行きたくなる学校とは？」

- Aテーブル**
- ・みんな仲良く、部活も楽しい学校
 - ・授業が楽しい学校(先生が楽しくなるように工夫してくれたらいいな)
 - ・男女関係なく、話しかけられる学校
- Bテーブル**
- ・みんながあいさつしたり、雰囲気が明るい学校
 - ・同学年の男女の壁がない学校

- Cテーブル**
- ・何でも話せる友人がいる学校
 - ・休み時間が長い学校
 - ・部活が楽しい学校
- Dテーブル**
- ・先生とも友達のみならず仲のいい学校
 - ・好きな教科があると行きたくなる
 - ・暗い先生がいる学校は行きたくない



学校生活について?

- 先生が厳しいから部活をやめる人が多い。
- 不登校の生徒が学年で2~3人いる。
- 1,2年生の上下関係はないが、3年生とはある。

いじめについて?

- やっぱり大人が入るとダメだと思う。自分たちで解決した方が良い。
- いじめが先生にばれると、「チクった」と逆ギレされ、いじめがひどくなったと聞いたことがある

学校の規則や生徒間の暗黙のルールは?

- 髪の毛は耳より四夜に下に結ぶ、ピン留め禁止、ソックスは白。
- カーディガンは2年から着用しても良い。
- 1年のカバンはリュック。
- タイツは2年からとか3年からとか決まっている。

皆さんの学校の良いところは?

- あいさつをしっかり行うところ。
- 自然が多いところ。
- みんな一つの小学校から来るので、先輩とかともみんな仲がいいところ。

第12回 新世代会議

新世代委員会 委員長

北森 茂之

今年度の第12回新世代会議では、各中学校から2年生の生徒40名が参加し、「行きたくなる学校とは?」「帰りたくなる家庭とは?」をテーマに掲げ、自由に語り合っていました。

デイスカッションは4テーブルに分かれて行うため、各テーブル内に同じ中学校の生徒は一人もいません。最初は思っていた通り緊張した面持ちで周りをうかがい、とても堅い雰囲気が始まりましたが、何度か発言を重ねることでお互いに打ち解け、最後には活発な意見交換となりました。

参加した生徒の皆さんからも、「他校の人と友達になれてとても楽しかった」「他の人との違いが分かって興味深かった」など様々な感想が寄せられました。初めて会った生徒達が、たった2時間足らずの会議で自分の意見を述べ、打ち解けていく様子を見ると、「語り合うことの大切さ」を改めて実感できる事業になったと思います。最後にありますが、この事業にご協力頂きました学校教育関係者の皆様をはじめ、母親委員会の皆様に心より感謝申し上げます。

テーマ② 「帰りたくなる家庭とは?」

Aテーブル ・家族が「おかえり」と迎えてくれる家庭
・部活などで疲れて帰ってきて、ゆっくり休める家庭

Bテーブル ・親がうるさく口出ししない家庭
・親のことを尊敬できる家庭
・自分のことをいろいろ応援してくれる家庭

Cテーブル ・部活や学校であった事を話せて、親と話し合える家庭
・家族のみんなが笑顔で待っていてくれる家庭
・親子の関係なく、友達みたいに話し合える家庭

Dテーブル ・学校でいいこと(表彰など)があった時、褒めてくれる家庭
・学校とは違って、ゆっくりとできる家庭



親との会話はどのくらいする?

- テストの結果を話すくらいで、あまり話さない。
- 部活のことを話すことが多い。

家に帰りたくない時って?

- テストが終わった時。結果をいろいろ聞かれるから帰りたくない。
- 朝、家を出る時に親とケンカした時。自分が悪い事はわかっているけど帰りたくない。

悩みを相談できる人はいる?

- 自分で悩みを抱え込んで相談はしない。
- 学校が違うからこそ話せることもある。
- 自分で悩みは解決する。
- 友人にはあまりしないが、家族にはする。
- 自分で基本考えるが、抱えきれなくなったら保健室へ行く。
- 部活のことは、部活以外の人に話す。

家に帰りたいたいと思う時は?

- 好きな夕ご飯を作ってくれている時。部活で疲れた時。
- 学校でいい成績をとって、親に褒めてもらえると思った時。



単Pだより

芦城小学校

◆ぼくたちの作った学年の歌を オーケストラの演奏で歌いたい！◆ ”コンサート開催について”

芦城小学校PTA会長 宮岸 和弘

今年で12回目を迎える石川県「子どもドリームフェスティバル事業」に芦城小学校の6年生がこんな夢を応募し採用されました。

「ぼくたちの学校は、今、建てかえしていますが、今年で卒業するぼくたちは、新しい校舎に入ることができません。それで、最高の思い出づくりとして、ぼくたちの作った学年の歌をオーケストラの演奏で歌うコンサートをしたいです。」

コンサートの開催に向けて、6年生のみんが、力を合わせ心一つにして練習を積み重ねていきました。小松市立高校の吹奏楽部の皆さんに協力頂き、6年生の学年の歌「ぼくらの言葉」自分から、自分たちから」をはじめ楽曲の編曲、そして、当日の演奏を担当して頂きました。

6年生の保護者・先生方で実行委員会を立ち上げ、コンサートの企画・運営のお手伝いも活発におこなわれました。コンサートは平成12年12月20日(日)こまつ芸術劇場うらら大ホールにておこなわれました。当日は、保護者だけでなく、地域のいろいろな方々にも来場して頂き、大変、盛り上がったコンサートになったと思います。

年明けの1月11日(日)には、石川県立音楽堂邦楽ホールにて、今回の子どもドリームフェスティバル事業に採用された学校の発表会もありました。

子供たちは、最高の思い出ができたと思います。そして、我々、保護者・先生方も子供たちの夢を共有し、子供たちから、勇気や元気をいっぱいもらったと思います。



ひ・だ・ま・り

育てられた心

小松市立学校PTA連合会

副会長 藤野 敦子

もつすく三月です。学校生活を中心に家族が動いていると、三月は節目の月になります。私達家族が小松に引越して来て、早六年が経とうとしています。あつという間の年月であったような気がしますが、私にとってはそうであっても、多感な子供達にはそうであつたと思えます。子供達は、日々学校でたくさんのお話を聞いています。勉強であったり、友人や先生との関わりであったり、色々なことを感じ取り、学び、成長していきます。家庭にいる私にとってそれを見ていくのは、とても楽しいことでした。

でもいつしか、子の成長は親としての成長として感じている自分に疑問を持ち始めていました。子どもは成長しているけれど、私は親として成長している？ もしかして、錯覚しているだけなのではないか？ と感じていたころに、市PTA活動に参加する機会をいただきました。子どもを取り巻く環境、学校、社会、視点を少し広げて活動することで、我が子のことではないことにも、考えを巡らすようになりました。基本は家庭ですが、「子は子の中で育つ」のです。我が子だけよければ、とはいかなくなりそうです。

市PTA連合の活動も、たくさんの子ども達を取り巻く環境のことを考えながら、自分たちが親であることの自覚

を持ち、親として育てられている活動のひとつなのだなと感じた一年でした。誰かがやるPTA活動ではなく、これを読んでくださった皆さんも、PTA活動のお話があったら是非とも参加してみてください、とお伝えしたいです。

あたりまえ

小松市立学校PTA連合会

副会長 佐藤 敦子

市P連では、早寝早起朝ごはん携帯電話の問題を二本の柱として一年間活動してきました。私自身、中学生の子どもを持つ保護者としてどちらも大きな課題です。

理想と現実には大きなギャップがあり、早寝早起朝ごはんについては、家族そろって食事を摂ることは、我が家にはかなり高いハードルです。携帯電話の問題も、楽しみにしている子ども達になかなかうまく危険性を伝えられていません。

早寝早起朝ごはんの大切さは、市P連の活動が三年目を迎えたことや各団体との連携で、かなり広く浸透してきたように、我が家の子ども達にとっても「あたりまえ」のことになってきているようです。

携帯電話の問題も今年度は、市内多くの小中学生で保護者の方々に危険性を知って頂けたと思います。今後両方の活動を続けて行くことが大切です。どちらも子ども達にとって「あたりまえ」になると良いと思います。

編集後記

一年間戸惑いながらも何とか今年度予定していた72号及び73号を発行する事が出来ました。広報委員の皆様お疲れ様でした。また原稿を執筆していただいた方には深く感謝と御礼を申し上げます。それから、市P連のホームページも今年度は、見やすいように少し整理して更新していますので、是非ご覧になって下さい。

URLは、<http://www.hakusan.ed.jp/kobay>

さて、自分にとっての一年は多くの素晴らしい方と出会い、本

当に貴重な経験をさせていただいた一年間でした。感謝！

広報委員長 西 茂樹